

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4752845号
(P4752845)

(45) 発行日 平成23年8月17日(2011.8.17)

(24) 登録日 平成23年6月3日(2011.6.3)

(51) Int.Cl. F 1
A 4 7 K 10/36 (2006.01) A 4 7 K 10/36 C

請求項の数 2 (全 4 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2008-12317(P2008-12317) (22) 出願日 平成20年1月23日(2008.1.23) (65) 公開番号 特開2009-172075(P2009-172075A) (43) 公開日 平成21年8月6日(2009.8.6) 審査請求日 平成22年12月2日(2010.12.2)</p> <p>特許権者において、権利譲渡・実施許諾の用意がある。</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73) 特許権者 307048435 是澤 米吉 三重県四日市市三重9丁目2番地1 37 棟205号 (72) 発明者 是澤 米吉 三重県四日市市小杉町1473番地の11 3 審査官 小林 俊久</p>
--	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 トイレットペーパーホルダー

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

壁面への取り付け面の横方向の両端から円筒状のトイレットペーパーの軸心方向の端面を支持する支持部を立設し、前記取り付け面との間に空芯を取り出す下部隙間をあげるとともに、上面に載置されたトイレットペーパーを引き出すごとにトイレットペーパーの重心が取り付け面側に移行するよう先端が上方を向くよう傾斜させてペーパー支持板を前記支持部の前側に設けたペーパーホルダーであって、前記ペーパー支持板の上側にペーパー切断用の突起を形成したことを特徴とするペーパーホルダー。

【請求項2】

支持部Gの上面にフタを設けたことを特徴とする請求項1記載のトイレットペーパーホルダー。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、トイレットペーパーの装着、切断、固定、交換を容易にしたものである。

【背景技術】

【0002】

ペーパーの片手による切断、マシン目に頼らないフリーサイズカットを目指したものである。

【0003】

20

従来の物件は、芯を利用するか底面を利用したものが多かったが、本発明は、壁面への取り付け面Aとペーパー支持板Bとを利用する為、ペーパーの外周と自重のみで固定保持される。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2005-80947号公報

【特許文献2】特開2006-124107号公報

【特許文献3】特開平7-213454号公報

【発明の概要】

10

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

従来の物件においては、その目的が切断あるいは装着だけといったような単目的のものが多かったが、本発明は、装着、トイレットペーパー引き出し後の逆戻り防止、必要な長さでの切断、交換、芯の取り出しなどの全ての機能を壁面への取り付け面Aとペーパー支持板Bとによってまかなうものである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明は、壁面への取り付け面の横方向の両端から円筒状のトイレットペーパーの軸心方向の端面を支持する支持部を立設し、前記取り付け面との間に空芯を取り出す下部隙間をあけるとともに、上面に載置されたトイレットペーパーを引き出すごとにトイレットペーパーの重心が取り付け面側に移行するよう先端が上方を向くよう傾斜させてペーパー支持板を前記支持部の前側に設けたペーパーホルダーであって、前記ペーパー支持板の上側にペーパー切断用の突起を形成したことを特徴とする。

20

取り付け角度の異なる壁面への取り付け面Aとペーパー支持板Bとを利用する。装着はペーパーを落とし込むだけでよい。切断はペーパー支持板Bの突起を利用して下方に引きおろせばよい。空芯は下部隙間Dを利用すると下方に引き落とせる。

【発明の効果】

【0007】

本発明のペーパーホルダーは、壁面への取り付け面の横方向の両端から円筒状のトイレットペーパーの軸心方向の端面を支持する支持部を立設し、前記取り付け面との間に空芯を取り出す下部隙間をあけるとともに、上面に載置されたトイレットペーパーを引き出すごとにトイレットペーパーの重心が取り付け面側に移行するよう先端が上方を向くよう傾斜させてペーパー支持板を前記支持部の前側に設けたペーパーホルダーであって、前記ペーパー支持板の上側にペーパー切断用の突起を形成したことを特徴とするものであり、このペーパーホルダーを利用することにより、片手での作業が可能のため、身体のご不自由な方でも容易に使用できるという効果がある。

30

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】ペーパーの装着を説明する斜視図

40

【図2】ペーパーの引き出し及び切断を説明する斜視図

【図3】芯の取出しを説明する斜視図

【発明を実施するための形態】

【0009】

トイレットペーパーを引き出すときの回転方向が手前から奥のほうになるように引き出し部分をペーパー支持板B面に沿わせること。

【実施例】

【0010】

ペーパーホルダーは、壁面への取り付け面の横方向の両端から円筒状のトイレットペーパーの軸心方向の端面を支持する支持部を立設し、前記取り付け面との間に空芯を取り出

50

す下部隙間をあけるとともに、上面に載置されたトイレットペーパーを引き出すごとにトイレットペーパーの重心が取り付け面側に移行するよう先端が上方を向くよう傾斜させてペーパー支持板を前記支持部の前側に設けたペーパーホルダーであって、前記ペーパー支持板の上側にペーパー切断用の突起を形成している。

【0011】

本発明の使用状態を説明する。トイレットペーパーを装着する前に引き出す部分をつまんでそのまま落としこむ。

次に、ペーパーを引き出し必要な長さになったところで突起部Eを利用して下方に引き下ろせば切断できる。

【0012】

また、ペーパーの残り量が少なくなり切断が困難になったときは、次のペーパーを落とし込んでやれば抵抗が大きくなり切断が容易になる。これはペーパーの交換にもつながる。なお、空芯は下部隙間Dから落下させるか下方に引き出す。

【0013】

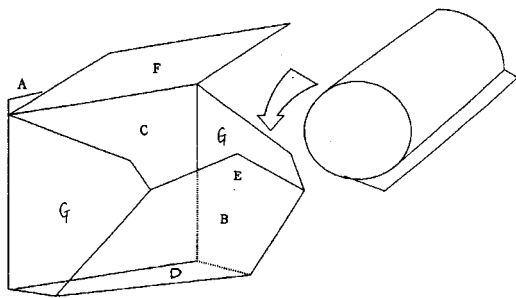
上部のフタFにおいては、突起部Eの保護及び予備のペーパーの置き場としての役割も持つ。

【符号の説明】

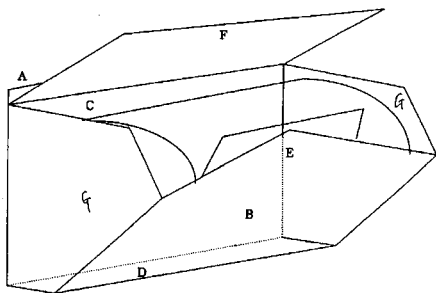
【0014】

- A 取り付け面
- B ペーパー支持板
- C 上部隙間
- D 下部隙間
- E 突起部
- F フタ
- G 支持部

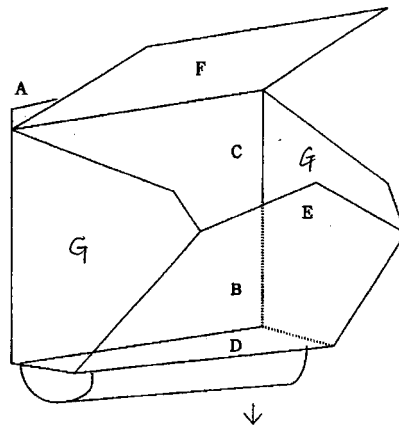
【図1】



【図2】



【図3】



10

20

フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2005-080947(JP,A)
特開平11-225908(JP,A)
特開平07-213454(JP,A)
特開2009-060986(JP,A)
特開平09-028615(JP,A)
特開平11-124143(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A47K 10/36 - 10/40